



# 雲仙市



あちこちで、海を見下ろす美しい絶景や、人と自然が織りなす風景が楽しめる。また、移ろう天気の一瞬の変化や、紅葉・霧氷などの自然現象、夜の星空の美しさも、この土地ならではの宝物です。

山頂では霧氷が見頃の2月、国見の神代小路では緋寒桜が咲き始め、海では牡蠣が旬を迎える。春はミヤケリソウが山の肌をピンク色に染める頃、里では春ジャコウの収穫が最盛期を迎える。夏は新緑の緑にヤブボウシの白が映え、雲仙温泉街では避暑客を迎える準備が進む。秋は紅葉が山頂から山麓へと駆け下る頃、橋湾に沈む夕日に映える小浜温泉の温かさが涼しくなるころ、四季折々の自然の営みに、地球からの贈り物、火山の恵みに感謝し、ともに生きる人達が育んできた食や暮らし。



## ごっこすなます



海抜0mの海から、駆け上がるおよそ1.483mの雲仙岳の山頂まで、雲仙の自然は、コトラストがはらい、立ち上がり、海を真上から眺め、眺むことができます。




その歴史に恥じない温泉のルールともいえる町としての歴史や景観の2つの温泉を染みこむことができます。



# 息を呑む雲仙市の絶景5選

### ドラゴンロード(雲仙)

雲仙温泉街と千々石町をつなぐ県道128号線にある、直線とヘアピンで構成された約2kmの道。橋湾を一望できる絶景スポットもあり、バイク好きにはたまらない。




### 棚畑展望台(南串山)

「長崎県だんだん畑10選」に選定された景観を展望でき、整然とした棚畑が広がる美しい風景が楽しめる。晴天時は展望台から橋湾の対岸の長崎市まで一望できる。



### 緑のトンネル(小浜)

以前は、小浜～愛野間を結ぶ鉄道として利用されていた温泉鉄道跡でもあり、春から夏に緑豊かな木々が生い茂り、まるでトンネルのようになることから親しまれている。




### 牧場の里あづま(吾妻)

吾妻岳の中腹に広がる吾妻岳牧野を利用した休養地。草を食べる放牧された牛、万里の長城を思わせる遊歩道からは、有明海や橋湾など雄大な自然が一望できる。



### 千々石展望台(千々石)

日本景観100選の地に選ばれた橋湾を一望できる展望台。晴天時は雲仙普賢岳も見ることができる。名物テイクアウトグルメじゃがちゃんも人気。



### ひまわり畑(愛野)

愛野町にあるじゃがいも畑は、春じゃがいも収穫後、鮮やかな黄色が畑一面に広がる、ひまわり畑に一変する。観光地としてはあまり知られていない穴場スポット。



### 鍋島邸・神代(国見)

国指定重要文化財である「鍋島邸」がある神代小路地区には、江戸期の区割りほぼそのまま残り、近代和風建築や石垣、生垣、自然林、水辺空間などが相まって、美しい景観を造り出している。



### 岩戸神社(瑞穂)

神社の境内には、樹齢300年以上もある檜や杉、苔むした岩など、神秘的な風景が広がっている。古くから「岩戸さん」の愛称で地元の人々に親しまれている。



### 古部駅(瑞穂)

島原鉄道の中でも、より海に近い駅になっており、対岸にある多良岳の絶景が楽しめる。周囲に建物等はほとんどなく、穏やかな雰囲気を味わうことができる。



# ウンゼン・エモーショナル・シーン



【各所からのアクセスについて】  
ドライブ、ローカルバス、船旅など様々なアクセス方法があり、それぞれに楽しみ方があります。  
詳しくはこちらをご覧ください

【問い合わせ先】  
一般社団法人 雲仙観光局 / 〒854-0621 長崎県雲仙市小浜町雲仙320番地  
TEL 0957-73-3434 / FAX 0957-73-2261

## Find UNZEN STORY&MAP

ストーリー & マップ  
ウンゼン



ここからはじまる、雲仙の旅。

# 食材宝庫！大地と海の恵み

有明海と橋湾という全く表情の違う2つの海に囲まれ、火山に育まれた豊かな大地を持つ雲仙は、「じゃがいも・いちご・ブロッコリー」など全国屈指の農業地帯でありながら、「種採り野菜」のような希少性の高い伝統野菜や固定種の野菜が伝統農法で栽培されているなど、多様性に富んだ土地。もちろん、2つの豊かな海でとれる海産物や、「雲仙牛」「雲仙あかね豚」など酪農も盛んで、食材の宝庫として高い注目を集めています。

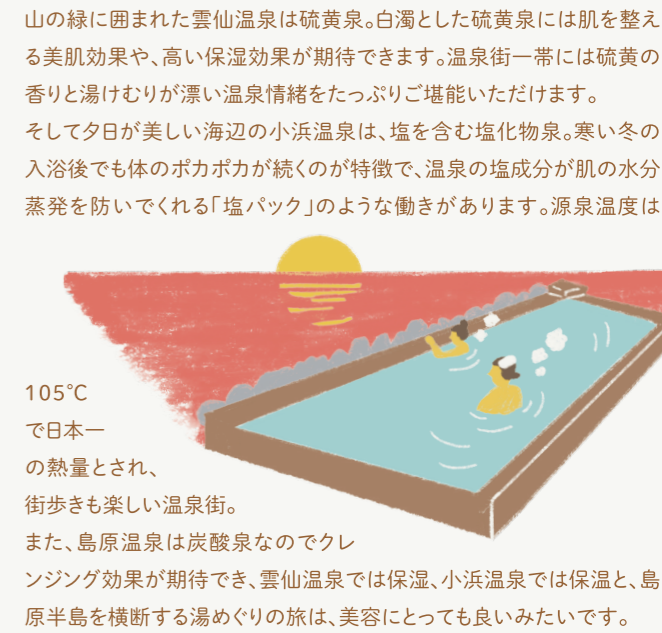
また、その多様性に富んだ食材の宝庫ならではのこの土地でしか食べることのできないグルメも魅力。「じゃがちゃん」「小浜ちゃん」「温泉蒸し」や「雲仙ジオバナー」などバラエティ豊かです。市内の各旅館や飲食店では地元食材をふんだんに使った料理人こだわりの逸品が提供され、グルメな街としても注目され多くの人の心とおなかを満たしています。



島原半島では同じマグマ溜まりから、小浜温泉、雲仙温泉、島原温泉と3つの異なる泉質の温泉が生まれています。雲仙市には、その中でも標高差約700m、車で約20分の距離に2つの温泉街(小浜温泉・雲仙温泉)があります。



山の緑に囲まれた雲仙温泉は硫黄泉。白濁とした硫黄泉には肌を整える美肌効果や、高い保湿効果が期待できます。温泉街一帯には硫黄の香りと湯けむりが漂い温泉情緒をたっぷり堪能いただけます。そして夕日が美しい海辺の小浜温泉は、塩を含む塩化物泉。寒い冬の入浴後でも体のポカポカが続くのが特徴で、温泉の塩成分が肌の水分蒸発を防いでくれる「塩バック」のような働きがあります。源泉温度は105℃で日本一の熱量とされ、街歩きも楽しい温泉街。また、島原温泉は炭酸泉なのでクレンジング効果が期待でき、雲仙温泉では保温、小浜温泉では保温と、島原半島を横断する湯めぐりの旅は、美容にとっても良いみたいです。



# 始まりの温泉と日本一熱い温泉



